

No. 133

2009
May.

5

KSKR

きずな THE KIZUNA

<http://www.eonet.ne.jp/~asn/>

奈良県自閉症協会
ニュース

発行人:

関西障害者定期刊行物協会

編集人: 奈良県自閉症協会

支部長&事務局: 河村舟二

〒639-1005

大和郡山市矢田山町 84-10

購読料1部 100円

会員は会費に含まれています。

2009年4月19日大和郡山城ホールで総会が行われました。冒頭、自閉症児などの療育支援グッズのひとつである時間を視覚的とらえるタイマーを使って来賓の皆様から2分間のスピーチをしていただきました。来賓の皆様からはそれぞれ、我々の活動を支援する示唆に富むご挨拶をいただきました。最初に挨拶を頂いた上田清、大和郡山市長は話の中身も素晴らしくまとまっていたのですが、事前の練習も無いなかで、寸分違わず2分ぴったりに収められました。会場全員このすごさに驚きました。

以下は当日お越し下さった来賓の方です。

上田清、大和郡山市長

高市早苗 衆議院議員 代理

滝 実 衆議院議員

中村哲治 参議院議員

前川清成 参議院議員

馬淵澄夫 衆議院議員

森岡正宏 前衆議院議員

奥野信亮 衆議院議員 代理

宮本次郎 奈良県議会議員

古市 秀俊 県福祉部障害福祉課長

爲重久雄 「でいあー」センター長

品川清美 奈良県重症心身障害児(者)を守る会

小走泰稔 奈良県手をつなぐ育成会

池田夕紀子 奈良県高機能自閉症児・者の会「アスカ」

宮崎瑠理子 みやざきりこ 奈良県作業療法士会

その後の中村美和先生にお願いした記念講演「自閉症スペクトラムと特別支援教育について～教育相談から分かったこと～」では、肢体不自由児等の教育実践の経験の下地のうえで発達障害児に係わられたなかで獲得された、貴重な体験を話していただきました。これには会員以外にも多くの学校の先生方が参加されていました。奈良県自閉症協会はNPO法人となって2年目を迎えます。今回は法人となったメリットを生かした今後の活動を考えるための総会でした。総会に参加できなかった皆様も今後の奈良県自閉症協会への提案やご意見をどしどしお寄せ下さい。(河村)

2009年度奈良県自閉症協会総会を終えて

先日4月29日の祝日に、4月号の「きずな」に載せ、4月19日の総会の時にもお知らせしました、大宇陀市の城山吉史様から使用の提供を受けている、古い農家一式を役員と会員で見学に行ってきました。

大宇陀市の農家の利用すでに始まっています。

この物件は、事情により農家をやめられた方から、城山氏が手に入れられたもので、最近まで居住されていました。そのため、電気・水道等も完備しており、すぐに利用できる内容でした。ただ、母屋は昔からの農家としての建物なので、茅葺きにトタンをかぶせた屋根であり、床板等が朽ちているところがあり、このままでは使えません。床を張り替え畳を入れ替えるなど修

繕する必要があります。

しかし、その他の離れや作業倉庫は即利用可能です。お泊まりも出来ます。また、隣接する広い畑が2カ所あり、ひとつには、5月5日には療育部さんの活動として早速さつまいもを植えました。もう一カ所の畑は10年ほど放置していたため雑草が生え放題ですが、草刈りをし、トラクターで耕すなどをすれば使えます。かなり広い畑です。その他クヌギの山、杉の山などもあります。城山氏は奈良県自閉症協会の活動のために役立てるのであれば、これら全部を自由に使って良いとの提案をいただいております。今後、郊外型の自閉症者の就労の場として、収穫物を売って収益を得たり、キャンプや、療育教室や会合の施設にも利用できます。会員の皆様には今後どのように運用するか各部会等でご検討をお願いします。また今年度、独立行政法人福祉医療機構の助成金事業として「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」に取り組めます。この事業の活動の中でもこの施設の利用を考えていきたいと思えます。まだ、ご覧になっていない方は一度見に行ってください。私も大宇陀は遠い所と思っていましたが、昔と違って道路も整備されており、奈良市内から車で1時間足らずで行けるかなり便利な場所です。
(河村)

※以下はインターネットホームページに掲載した募集内容です。急な企画で時間がなかったため、全ての会員に情報が届かなかったことをお詫びします。今後の行事、収穫祭等の参加情報はインターネット以外でもお知らせを徹底します。(河村) さつまいもをうえよう!

5月5日 こどもの日
集合時間：10：30
集合場所：大宇陀市あきの湯駐車場
持ち物：ぼうし、軍手、タオル、スコップ、水筒、汚れてもいい服装とくつ、おやつ、予備の服とくつ

<さつまいもの植え方>

1. グーの手がかくれる深さに、土を掘る。
2. さつまいも苗を、ほったあなに入れて、土をかぶせる。
3. パーの手くらの間をあけて、次の穴を掘り、苗を植える。
4. 5つ植えたら、たっぷり水をかけてあげよう。こどももおとなも、力をあわせてがんばろ〜♪



ス クリーンに絵が映し出され「何が書いてあるでしょう」と質問されました。見方をいろいろ変えるとやっとわかりました。見方が異なることによる「わからない」を体験しました。

次に映像が次々に流れていき、後から出題がありました。前もって質問をわかっていないと、映像が流れている時に何に注目したら良いかわかりません。先に予備知識や前置きを与えることがわかってもらうために大事だなあと思いました。子供に伝える時は伝え方などを工夫して「わかる」状態になり、すっきりした気持ちで物事に意欲的に取り組めるようになってほしいと思いました。

自閉症の特徴に対する対応として「頭ごなしに叱らない」「ひとつずつ ていねいに」「こだわりに こだわらない」というお話がありました。親も子どものこだわりにこだわり過ぎないようにすると気持ちが楽になりますね。言葉が無くても子どもをよく観察すると、体のちょっとした動きからいろいろわかるというお話がありました。私もさっそく心がけています。

最後にニキ リンコさんの詩の紹介がありました。その詩から、「自閉も個性の一つである」と改めて感じま

した。自閉をもっと肯定的にとらえ、上手に折り合いをつけて、充実した生活が送れますようにと思いました。

先生のお話を聞いて、自閉の人の気持ちや対応の仕方について勉強できて、とても良かったです。有難うございました。

両角 佐知子

講演 「自閉症スペクトラム特別支援教育について」
〜教育相談から分かったこと〜



「自立のための自閉症児療育キャンプ」参加者募集

平成21年度「自立のための自閉症児療育キャンプ」を子どもゆめ基金（独立行政法人国立青少年教育振興機構）の助成金の交付を受けて奈良県在住の自閉症児と保護者を対象に実施します。

☆実施期間：2009年7月26日（日）～27日（月）

☆実施場所：

大阪市舞洲障害者スポーツセンター「アミティ舞洲」
大阪市此花区北港白津2-1-46

☆募集人数：15家族（親子で1家族）

☆参加対象：7月12日（日）大和郡山社会福祉会館で行うプレキャンプに参加できる方

全日程親子で参加できる方（母子分離可能な方）

参加費：小学生 6,600円 中学生以上大人 7,800円

移動方法：貸し切バス

自家用車や電車で現地集合されてもかまいません。

申し込み問い合わせ：

光野 TEL/FAX 0742-71-4088

e-mail: nahi-kon@m3.kcn.ne.jp

締め切り：6月12日（金）

☆日程：下記の予定ですが、変更になる場合もあります（今回ボランティアはキャンプヘルパーと呼びます）

一日目 7/26（日）

10:30 近鉄八木駅発（貸し切バス）～近鉄奈良駅

12:00 アミティ舞洲到着

12:30 昼食

13:30 選択活動（プール・プレイルーム・散策）

16:30 オリエンテーリング

18:00 夕食

19:00 工作・音楽遊び

20:00 入浴

21:30 就寝

二日目 7/27（月）

7:00 起床 洗面 更衣

8:00 朝の会・体操

8:30 朝食

9:30 部屋の片付け 荷物移動 10:00 選択活動（プール・動作法・散策・サブアリーナ）

12:00 昼食

13:30 出発（貸し切バス）近鉄奈良駅～大和八木駅

○定員を超える場合は主催者側で選考させていただきます。特定のご家族と一緒に参加を希望されましてもお約束は出来かねます。

○途中のバスの停留所は、参加者により考慮します。

○キャンプ実施3日前以降のキャンセルの場合、お食事代金はお返し出来ませんので、ご了承下さい。

○ボランティアの確保が難しいので、兄弟の参加は出来ません。



療育部から茶話会のお知らせ

6月の部会は、茶話会を開きます。

日頃子育てで悩んでおられる事、療育部への今後の要望などなんでも結構ですので、気楽に話し合いたいと思います。午前中の短い時間ですが、ほんのひと時、ストレスを発散しにいらしてみてください。

新しい会員さんもこの機会に是非ご参加くださいね。
(子供さんを連れてのご参加も もちろん OK です。)

記

- ・日時：2009年6月23日(火)
10時から12時まで
- ・場所：大和郡山市社会福祉会館
- ・問い合わせ・申し込み
- ・石原 0742-36-6298
- ・吉村 0745-52-8889
- ・申し込み締め切り 6月20日



募集 「自立のための自閉症児療育キャンプ」の キャンプヘルパー募集

奈良県自閉症協会では、子どもゆめ基金(独立行政法人国立青少年教育振興機構)の助成金の交付を受けて平成21年度「自立のための自閉症児療育キャンプ」を実施いたします。キャンプのお手伝いをしてくださるキャンプヘルパーを募集いたします。

実施期間：2009年7月26日(日)～27日(月)

実施場所：大阪市舞洲障害者スポーツセンター「アミティ舞洲」大阪市此花区北港白津2-1-46

費用：無料(傷害保険についても当支部で負担いたします。)

交通手段：近鉄八木駅・近鉄奈良駅より、貸し切バスで往復します。(自家用車や電車を使って現地集合されてもかまいません。)

☆本キャンプの活動の特色：

本キャンプは、参加する子供の自然体験の場であるとともに、自閉症の障害特性を実践的に学びあう場とする。専門家の指導の下、自閉症に特化した療育法、構造化した環境整備の実際を体験する。このキャンプの参加者が、活動を通じて自閉症児者の社会的自立と社会参加のための支援環境作りのあり方を考え、自閉症の理解を深めることを目的とする。

日程(予定) 一日目 7/26(日)

10:30 近鉄八木駅～近鉄奈良駅～(貸し切バス)

12:00 「アミティ」舞洲

12:30 昼食

13:30 選択活動(プール・サブアリーナ・散策)

16:30 オリエンテーリング

18:00 夕食

19:00 工作・音楽遊び

20:00 入浴

21:30 就寝

二日目 7/27(月) 7:00 起床 洗面 更衣

8:00 朝の会 体操

8:30 朝食

9:30 部屋の片付け 荷物移動

10:00 選択活動(プール・動作法・散策・サブアリーナ)

12:00 昼食 13:30 出発(貸し切バス) 近鉄奈良

駅～近鉄八木駅

申し込み問い合わせ：光野 節美 TEL/FAX：0742-71-4088 e-mail: nahi-kon@m3.kcn.ne.jp

締め切り：6月15日 多くのご参加をお待ちしております。 7月12日(日) 大和郡山社会福祉会館で行うプレキャンプにも、ご参加をお願いいたします。

平成21年度独立行政法人福祉医療機構助成事業「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」

保護者のための勉強会

自閉症として生まれてきた子供と楽しく過ごすために！

ちょっとした工夫をして、ちょっと考えかたを変えてみて・・・

自閉症の子どもをもつ親どうし、一緒に学びませんか？

★対象者 : 奈良県内在住の自閉症の診断を受けた子どもの保護者
子どもの年齢は問いません。全8回 出来る限りご参加出来る方

★定員 : 25名

★参加費 : 無料

★場所 : 奈良県心身障害者福祉センター (田原本) (他)

★時間 : 10:30～12:30

○第1回目 5月21日(木) 自閉症とは？ 我が子の事を知ろう！

○第2回～第8回 6月～1月(8月をのぞく)の月1回

木曜日を中心に計画中 * ビデオ学習を中心に グループ学習・グループ実習と、時には講師の先生もお呼びしながら 進めていきます。それぞれの子どもさんに合わせた支援をみんなで考えたいです。

19年度・20年度の参加者の引き続きの参加も大歓迎です。 更に 実践内容を取入れて計画中！！

○実践勉強会の案内

2009年度も実践勉強会を予定しています。

メンバーには これまで子供の療育に通いながら実践されてきた保護者も加わり、養護の先生たち、以前の
実践セミナーの体験者です。いろいろな形で子供と関わりながらの支援を一緒に進めていきませんか。お待ち
しています。参加資格は「保護者のための勉強会」に参加される方を対象にします。

★療育セミナー予定

★場所 高橋ビル 4階 (イトーヨーカドーの近く)

○1回目 6月 日時は未定。(土・日) ※予定14:00 スタート

○2回～8回 7月・9月・10月・11月・12月・1月・2月

★日時は 未定 : 参加の子供達にできるだけ合わせます。

★参加費 無料

☆3～4名の モデル協力児を 募集します。

※ 勉強のための保護者だけの参加も大歓迎です。先生や自閉症に関わってくださっている全ての関係の方の
ご参加もお待ちしております。保護者のための・実践とも

▲問い合わせ・申込み先

田中 康子 TEL/FAX 0745-32-1035

E-mail ken-tan@m4.kcn.ne.jp

大橋製作所事件について

平成21年4月18日(土)やまと郡山城小ホールで「大和郡山地域生活支援フォーラム3誰もが生き生きと安心して暮らせる大和郡山をめざして～考えよう。障害のある人との地域生活～」が行われ河村が参加してきました。その中で、奈良県自閉症協会の団体会員である社会福祉法人ひまわりの施設長の渡辺哲久氏の講演「地域で暮らす豊かさとは」がありました。

そこで大橋製作所事件の被害者で現在ひまわりで生活しておられる2名が来られ、渡辺さんとのインタビュー形式で自分のことばで、大橋製作所事件の全容を話されました。奈良県で起こった事件としての重大さとともに、私たちにも関係のある大切な内容であると思いますので、会員の皆様にもお知りおきいただきたいので、内容を紹介します。なお2008年6月の毎日新聞などでこのことは大きく取り上げられています。(河村)

○大橋製作所事件の被害者10人は、2008年12月8日、被害弁償や再発防止を求めて民事訴訟を起こしています。

被害弁償はもちろんですが、それ以上に「二度とこんな事件が起きないように」という被害者の気持ちが込められています。大橋製作所事件が発覚して半年、2008

年2月には札幌市で「三丁目食堂事件」が報じられました。

年2月には札幌市で「三丁目食堂事件」が報じられました。四人の被害者が長い人で30数年、大橋製作所事件とまったく同じ目にあっていました。

三丁目食堂事件の被害者と交流した大橋事件の被害者は、改めて民事訴訟で何を問うのかをはっきりとつかめました。「この裁判は、同じように苦しんでいる仲間を助けるための裁判だ」と。

2009年3月2日の第一回公判で、原告である被害者は、自分たちの思いを集めて意見陳述を行いました。泊まり込みの合宿をして、みんなで一緒に意見陳述を作り上げました。○大橋製作所事件とは？

奈良県北葛城郡広陵町にあった家具製造会社『大橋製作所』が、2007年5月、倒産しました。工場の2階の寮には、知的障害のある従業員11名が住み込みで暮らしていました。

仕事とすむところを同時になくした11名の救援に入ったところ、大変な事実が明らかになりました。

(1) 年金をすべて横領されていた

11名は、早い人で1990年より障害基礎年金2級を取得していました。月額6.6万円ほどです。会社倒産まで17年間、11人の人たちのすべての年金が会社に横領

されていました。被害総額は、時効にかからない1998年以降だけでも、全体で9,000万円を超えます。

(2) 給料をもらっていなかった経営が傾きだした1999年頃以降、給料はまったく支払われなくなりました。週末に3千円から5千円の生活費が渡されるだけでした。週末は食事のまかないがなく、11人はもらったお金で弁当を買うなどしてかろうじて暮らしていました。

(3) 劣悪な生活環境

10畳ほどの寮の部屋に、2段ベッドが5台。一人は床に布団を敷いて寝ていました。自分たちでは掃除ができず、救援に入ったときには土足でなければ入れない状態でした。いくつかの窓もタンスやベッドでふさがれていて、昼間でも薄暗い状態でした。

(4) 繰り返される暴力

仕事でミスをする度に、社長の大橋浩三や専務の大橋良成によって11人は殴られ蹴られていました。げんこつで胸や顔を殴られて、息が詰まるほど痛み苦しんだり、金槌の持ち手や金尺の角でたたかれ、頭から血を流していました。こぶがで腫れて痛みました。

1995年、被害者の一人はげんこつで顔を殴られ、目のまわりが青く腫れていました。お父さんが亡くなられ葬式に出るために帰省したときは、先代の社長・大橋巖か

ら「転んだと言っておけ」と口止めされました。

被害者が最も傷つき、この裁判を起こすに至った一番の理由は、この暴力にあります。

なぜ被害者は助けを求められなかったのか？

被害者11人のうち7人は、高度経済成長の時代の1970年代に長崎県から就職してきた人たちです。当初は実家に帰省をしていましたが、次第に帰ることもままならず、両親も亡くなったりして次第に縁が薄くなっていきました。

奈良県内から就職し、倒産の時点で大橋製作所で働き続けていた人は4人です。

そのうち二人は県内の知的障害児入所施設から一人は15歳、もう一人は18歳で移り住んできました。また二人は養護学校高等部を卒業とともに、大橋製作所に住み込みました。

被害者は、帰るところも、助けを求めるところもなかったのです。

また一人の被害者はこうっています。

「親兄弟や就職を世話してくれた人には言えなかった。話したことがばれたら、またなぐられると思った。

平成21年度独立行政法人福祉医療機構助成事業「自閉症児者の療育と就労資源開拓事業」

◎自閉症支援者・支援ボランティア募集

☆勉強会・実践勉強会支援者

・保護者の勉強会、成人支援勉強会・支援者勉強会の

資料作成・準備、講師スタッフ

いろいろな療育支援や 支援アイデアで

自閉症の人たちや 保護者と活動して下さる方。

☆啓発キャラバン隊メンバー

・キャラバン活動視察(他府県)から 奈良県内での活動準備保護者もok!

☆ペアレントメンター

ペアレントメンターとして これまでの講習会修了者と本年度の参加者も募集!

*勉強会関係の連絡先

FAX 0744-33-4755

m-ueshima@k2.dion.ne.jp

☆就労資源開発支援者

・宇陀市内の 廃屋リフォームの手伝い支援者募集!

農作業指導ができる方 山仕事の出来る方

力仕事得意な方 山の自然が大好きな方

その他 何でも、得意なことを教えて下さる方

夢のファームづくりに 空いた時間を分けて下さい!

ご支援よろしく お願いいたします。

問い合わせ・連絡先

TEL/fax 0743-55-2763 河村

メール kawafune@ares.eonet.ne.jp

又は hajime.1216@nike.eonet.ne.jp

奈良県外への研修費用謝金・交通費等の 支給可能です

自閉症支援者・支援ボランティア募集

事務局からのお知らせ

事務局

○おやじの会大宇陀見学

5月16日(土)おやじの会で視察に行かせていただきますと思います。

参加していただける方は、10時に大宇陀の保健センター・あきののゆ(心の森総合福祉公園)の駐車場で待ち合わせしたいと思います。

(参加していただける方は、必ず事前にお知らせいただきますようお願いいたします。)

おやじの会 櫻井 電話 0744-33-5851

○5月17日 つながり祭 奈良教育大学

○5月23日 社団法人日本自閉症協会総会(東京)

○5月28日 関西障害者定期物刊行協会総会

○5月29日 奈良県発達障害支援体制整備検討委員会 県庁議会棟第一委員会室

○6月5日 手をつなぐ育成会総会 県総合福祉センター橿原市

○6月28日 JDD ネット奈良会議

○平成20年度改訂版 リソースブック「奈良県で暮ら

す発達障害児・者のために豊かに暮らしたい」と奈良県自閉症協会「活動案内・入会のしおり」が新しくできました。総会に参加した方にはすでにお渡ししましたが、欠席の会員の方には後ほどお送りします。また会員以外に必要な方はお送りしますので事務局に連絡下さい。なお1冊80円の送料負担をお願いします。冊子は独立行政法人福祉医療機構の助成金で作成のため無料です。

☆会員の圓越さんがされた講演の内容です。自閉症など発達障害の子ども達の中にはいじめや不登校になっている子がたくさんいるようです。興味深い内容ですので、今後奈良県自閉症協会でもお話をお願いできたらと考えます。(河村)

第24回 登美ヶ丘文化交流の会 於:登美ヶ丘公民館 2009年4月12日「ひきこもり、不登校の子どもたちの世界とは」圓越 千秋

★リバーズアカデミー師友塾

○神戸校(神戸市)、東京校(九段)、チューリップの館(淡路島)、師友塾高等

学校(尾道市)、AIE(シアトル・留学プログラム)

○電話:078-841-5285(神戸校)

ホームページ：<http://www.rebirthacademy.com/>

○YAHOOの検索キーワード：「不登校」「登校拒否」「ひきこもり」

★アンケート結果(一部)

○「生きたい」と思うようになった。(19歳)

○感情が戻ってきた。(20歳)

○共生の空気が好きだということが分かった。(16歳)

○親と向き合えるようになった。(16歳)

○自分と親の価値観が違うことがはっきりした。(19歳)

○リストカットしなくなった。(16歳)

○不登校に対してのマイナスイメージがなくなった。(21

歳)

★ある塾生のお母様の手紙の一部

「これまで2年以上に亘り、色々な所に出向き、必死で息子を助けて下さる所

を求めて、這いずり廻って参りました。・・・」

★歴史・ケア態勢・進路の視点で

**サツマイモの苗植え風景と苗上が終わった畑
秋が楽しみです。**



発行人：関西障害者定期刊行物協会

住所：〒536-0023

大阪市城東区東中浜2-10-13 緑橋グリーンハイツ1F

編集人：河村 舟二

定価：100円